

## 2023年度事業報告

I. 会 員 数	2023年3月31日	5,003名 (2022年度新入会員数134名)
	(内訳) 正会員	4,935名 (内: 終身会員727名), 名誉会員68名
	2024年3月31日	5,001名 (2023年度新入会員数161名)
	(内訳) 正会員	4,936名 (内: 終身会員739名), 名誉会員65名
賛助会員数	2023年3月31日	20団体
	2024年3月31日	20団体

### II. 学術的会合

- 2023年度年会  
3月15日(水)～3月18日(土) 中央大学
- 2023年度秋季総合分科会  
9月20日(水)～9月23日(土) 東北大学
- 第25回、第26回高木レクチャー  
(2024年度に延期)
- 第14回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI 2021)  
7月10日(月)～7月14日(金) 東京大学  
第16回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI 2023)  
7月26日(水)～8月4日(金) 東京海洋大学

### III. 出 版

- 欧文誌 (1) *Journal of the Mathematical Society of Japan*  
Vol. 75 No. 2 2023年4月刊行    Vol. 75 No. 3 2023年7月刊行  
Vol. 75 No. 4 2023年10月刊行    Vol. 76 No. 1 2024年1月刊行  
(2) *Japanese Journal of Mathematics, third series*  
Vol. 18 No. 1 2023年4月刊行    Vol. 18 No. 2 2023年9月刊行
- 邦文誌 (1) 数 学  
第75巻2号 2023年4月刊行    第75巻3号 2023年7月刊行  
第75巻4号 2023年10月刊行    第76巻1号 2024年1月刊行  
(2) 数学通信  
第28巻1号 2023年5月刊行    第28巻2号 2023年8月刊行  
第28巻3号 2023年11月刊行    第28巻4号 2024年2月刊行
- Advanced Studies in Pure Mathematics*  
Vol. 88 2023年4月刊行
- MSJ Memoirs・数学メモアール  
刊行なし

#### IV. 顕彰

##### 1. 日本数学会賞小平邦彦賞

生涯にわたって数学に関する優れた業績をあげた数学者を顕彰する第2回小平邦彦賞を4名に授与しました。

##### 2. 日本数学会賞春季賞・秋季賞

重要な研究成果をあげた40歳未満の数学者を顕彰する春季賞を1名に、また過去5年以内に特に優れた業績をあげた数学者を顕彰する秋季賞を1件に授与しました。

##### 3. 日本数学会賞建部賢弘特別賞・奨励賞

若くして特に優秀な業績をあげた数学者を顕彰する特別賞を3名に、また極めて若くして優れた業績をあげた数学者を顕彰する奨励賞を5名に授与しました。

##### 4. 日本数学会出版賞

著作活動により数学の研究・教育・普及に顕著な業績をあげた個人または団体、もしくは著作物を顕彰する出版賞を、著者2名および著作物1件に授与しました。

##### 5. JMSJ 論文賞

2022年の「Journal of the Mathematical Society of Japan」に掲載された論文のうち、特に優れた1編の著者に授与しました。

##### 6. 日本数学会解析学賞

解析学の発展に貢献した数学者を顕彰する解析学賞を3名に授与しました。

##### 7. 日本数学会幾何学賞

幾何学の発展に貢献した数学者を顕彰する幾何学賞を1名に授与しました。

##### 8. 日本数学会代数学賞

代数学の発展に貢献した数学者を顕彰する代数学賞を2名に授与しました。

##### 9. 日本数学会応用数学賞

応用数学の研究において顕著な業績をあげた研究者を顕彰する応用数学賞を1名に、また応用数学分野において優れた業績をあげた若手研究者を顕彰する応用数学研究奨励賞を4名に授与しました。

#### V. 研究奨励

##### 1. 加藤敏夫フェロー

東南アジア数学会の協力のもと、次世代を担う東南アジア在住の若手数学研究者を育成することを目的として1名を選考し、日本大学文理学部において受け入れました。

##### 2. 日本数学会奨励研究生

厳しい研究環境の下で主体的に研究を進める若手数学研究者を奨励することを目的として、学位（博士）取得後5年以内の有望研究者5名を第5回奨励研究生として採用しました。

#### VI. 国際交流

##### 1. アジアの数学会との交流事業

(1)大韓数学会との共催により、「MSJ-KMS Joint Meeting 2023」を開催し、Plenary

Talks および4つのパラレルセッションにおける計18件の講演を行いました。

(2) 秋季総合分科会に大韓数学会代表団を招いて、大韓数学会の会員による企画特別講演を行いました。

(3) 台湾数学会年会に代表団および招待講演者を派遣しました。

## 2. アフリカ数理科学研究所 (AIMS) との交流事業

当会とAIMSが締結した覚書に基づき、AIMSの拠点の1つである南アフリカ共和国に講師を派遣し、約3週間にわたり集中講義を担当しました。

## 3. 外国機関に対する支援等

(1) IMUの下部機関であるCDC(発展途上国の数学活動を支援する組織)に対して15万円を拠出しました。

(2) Oberwolfach 研究所の財政を支援する組織 (Verein zur Förderung) の機関会員として、年会費500ユーロを拠出しました。

(3) 日米数学研究所 (JAMI) を援助するため10万円を拠出しました。

(4) The International Council for Industrial and Applied Mathematics (ICIAM) の会員として年会費410 USドルを拠出しました。

## VII. 社会連携

1. 市民講演会(中央大学および東北大学)を開催しました。

2. 博士課程の学生を中心としたキャリアパス支援構築を目的として、「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会2023」を、日本応用数理学会および統計関連学会連合との共催により中央大学で開催しました。

3. 数学「ジャーナリスト・イン・レジデンス」(JIR)プログラムへの支援を行いました。

4. 「女子中高生夏の学校」において実験指導、ポスター展示、キャリア相談を行いました。

## 2023年度事業報告附属明細書

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。